

気候や植生の違いを感じています！

岐阜県の皆さん、こんにちは！日本では太陽が輝き、入道雲が美しい季節でしょうか。こちらザンビアは、寒い乾季が終わり、暑い乾季へと移行変わろうとしています。さて第15回は、**ザンビアのくだもの**を紹介します。市場を歩いていると、初めて見るくだものに数多く出会います。名前も食べ方も分からないくだものたち。今回は、実際に買って食べてみた感想を紹介します！



夕暮れ時のビクトリアの滝

ザンビアくだもの図鑑

※ 果物の名前は、現地の人から教えてもらった名前をもとに記載しています。聞き間違えなどにより、名前に誤りがある場合があります。ご了承ください。

① マサウ



パサパサとした食感で、りんごとさくらんぼを合わせたような味。緑の実も赤い実も食べる。

② マスク



半分に割り、中身を押し出しながら食べる。甘くて、干し柿みたいな味がする。

③ マブユ (バオバブ)



殻が固く、棒で叩き割って開ける。酸っぱく、舐めると口の中でラムネのように消えていく。

④ マフルフル



殻が固く、棒で叩き割って開ける。ねっとりとした食感で、甘いけれど少し渋みがある。

⑤ イントウンブルワ



さわやかな甘さがあり、ブドウのような味。なかなかおいしいが、時々渋い。

⑥ マゴンゴ



酸っぱい。種の周りの少ない果肉をしゃぶるイメージ。ザンビア人の友人は好きらしい。

⑦ マンカンガラ



別名“African Cucumber”。フルーティーなきゅうり。甘くて酸っぱいような味がする。

⑧ マトボ (マネゴ)



別名“African Bubblegum”。干し柿みたいな味。皮ごと噛んで味わい、最後に皮を吐き出す。

⑨ ボーボー



刺激が少なめの「スッパイマン」みたいな味。なんとなく、梅干しを思い出す。

夜の滝に虹がかかる ～ルナレインボー～



この記事でもたびたび紹介しているヴィクトリアの滝。

満月の明かりで、夜の滝に虹が架かる「ルナレインボー」を見に行ってきました！

雨季明けで滝の水量が多い数か月限定、さらに満月の夜とその前後数日だけ見られる、特別な現象です。

昼間とは違う幻想的な滝の姿や、月の動きに合わせてゆっくりと移動する虹、そして南十字星やさそり座が輝く夜空。忘れられない、かけがえのない時間となりました。

今月の1枚



おさんぽ～♪

私の日課の一つになっている夕方の散歩。涼しくなった夕暮れ時、近所の子ども達と一緒に出かけます。大きな赤い太陽と空を染める夕焼けは、何度見ても嬉しくなります。

最後までお読みいただき、ありがとうございました。次回は、現地語を紹介します。来月号もどうぞお楽しみに！

